

授業概要

本科目では、高齢者の心理について生涯発達の視点から、さまざまな領域に焦点をあてながら、概観していく。高齢者に限らず私たちが生きている日本はどのような状況に置かれているのか、老年期の至る中高年期はどのような時期なのか、加齢に伴い身体機能や知的機能はどのように変化し、その変化にどのように対応していったらいいのか。そもそも高齢者の心理はどのようなものなのか、認知症の高齢者の心理はどのようなものなのか、等々について学び、考えていく。

授業計画

第1回	オリエンテーション・現代日本の社会状況と課題1 ー生涯発達の視点からー
第2回	現代日本の社会状況と課題2 ー俯瞰的視点からの解決案ー
第3回	生涯発達の視点からみる中高年期 ー発達課題・ライフラインー
第4回	中高年期の心の危機と発達
第5回	からだのエイジング1 ーその特徴と心理的理解ー
第6回	からだのエイジング2 ー低下への対応ー
第7回	知的機能のエイジング1 ーその特徴と心理的理解ー
第8回	知的機能のエイジング2 ー変化への対応ー
第9回	老いるということ ー老年期の心理的特徴ー
第10回	高齢者に対する理解と支援1 ー理解を中心にしてー
第11回	高齢者に対する理解と支援2 ー支援を中心にしてー
第12回	認知症高齢者に対する理解と支援1 ー認知症に関する基本的知識ー
第13回	認知症高齢者に対する理解と支援2 ー認知症高齢者の理解ー
第14回	認知症高齢者に対する理解と支援3 ー認知症高齢者の支援ー
第15回	まとめ
第16回	テスト

到達目標

各授業で提供される情報を理解できること。理解した内容について考え、さらにその理解を深められること。その上で、自分なりの視点を持つことができること。

履修上の注意

授業中、適宜、リアクションペーパーに自分の考えをまとめてもらう。また、授業の内容に応じて、グループワークを行うので積極的に参加すること。

予習・復習

講義で扱った内容をさらに深めるため、授業内での資料を読み込み、さらに知りたい内容について自分で調べること。

評価方法

リアクションペーパーの内容（20%）、受講態度（10%）、テストの結果（70%）を合わせて、総合的に評価する。

テキスト

特に指定しない。
随時資料を配布し、参考文献はその都度紹介する。